(桜のカードを見せる)

いずみしょうがっこう
和泉小学校のみなさん、おはようございます。

桜のカードを見せましたが、昨日、3月14日は東京の開花宣言がありました。昨年も、開花宣言の日は同じでしたが、いずれも史上最速でした。東京の開花宣言を観測する場所は、靖国神社ですが、私たちが住んでいる千代田区ですね。東京の中心地、千代田区の靖国神社で5つの花が咲くと、開花宣言を出す日となるそうです。

また、今年も桜の開花宣言が最速でしたが、桜が早く咲く条件は3つあるそうです。①とても寒い時期があること ②そのあと、とても暖かい日になること ③適度な水分です。なるほど、今年は、1月にとても寒い日が続きましたが、2月になってとても暖かくなりました。この寒暖の差が必要だそうです。また、3月になると雨の日が多かったですね。というわけで、3つの条件がそろって、史上最速となったわけです。桜って不思議ですね。この謎について、興味をもった人は自分でも調べてみてください。

さて、今日は、先週にとっても嬉しいことがあったので、そのことについてお話します。

1つめの嬉しかったことは、「だいじょうぶ？」という言葉です。先週、登校するときに、低学年の子が校門の手前でころんでしまいました。すると、「だいじょうぶ？」と言って、高学年のお兄さんやお姉さんが、5、6人集まってその子のことを見守っていました。私は、人が集まっていたので「何があったのだろう？」と近づいてみると、そのように、高学年の人たちが「だいじょうぶ？」と声をかけていました。その優しいお兄さんやお姉さんのおかげで、その低学年の子は、おそらくとても痛かったと思うのですが、全く泣かずにいることができたのだと思います。このような高学年の人からのやさしさを受け、今度は、他の人にやさしく声をかけてあげてほしいなと思いました。

2つめは、「ごめんなさい」という言葉です。先週、ある子どもたちが、善いことと悪いことの区別がつかず、悪いことをしてしまいました。担任の先生からも、指導を受けた後、校長室にもたくさん子どもたちが入ってきて、私からもお話をしました。でも、その子たちは、1人1人自分がやってしまったことを自分の言葉で、自分の表現の仕方ですら正直に語ってくれました。そして、「ごめんなさい」と言って、これからどうするのかも話してくれました。私は、自分で正直にやってしまったことを言い、「ごめんなさい」と言えた子どもたちを見て、この子たちは、きっと変えられる、よい子になる！と思いました。それと同時に、次の言葉を思い出しました。

「他人と過去は変えられないが、…」 この後、どのように続くと思いますか？
「自分と未来は変えられる。」 です。

他人とは、自分以外の人のこと、過去はもう過ぎ去ったことですね。自分以外の人と過ぎ去ったことは、変えられないけれど、変えられるのは、自分と自分が変わることによって未来が変わることです。

失敗してしまったこと、やってしまったことは、もう仕方ありません。失敗したことを嘆くよりも、自分が変わって、前向きにやりなおして生きていくことが大切だと思います。すると、未来は変わります。

あと少しで、皆さんは進級、進学をします。残り少ない日々を、ぜひ前向きに、ポジティブに過ごしていただきたいと思います。

今日は、「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる。」というお話をしました。